

こころを使った 日常臨床の面接アプローチ

オーソドックスな精神分析アプローチと
比較しながら

全10回
配信

講師
祖父江典人
名古屋心理療法
オフィス

令和6年5月から配信スタート

※日本臨床心理士資格認定協会ポイント定例型（継続型）研修会（4ポイント）
として認可済

[受講料] 3万円（院生、研究生2万円）

[受講資格] 臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、福祉系援助職、教師、
臨床心理系の大学院生、その他守秘義務を持つ専門家

[締切] 令和6年4月30日（締切以降でも年度内であれば申し込み可）

[申し込み] 別添の「WEBセミナー第五期参加申込書」に記入の上、
事務局 (nagoya_psy@yahoo.co.jp)までお送りください

第五期 ごあいさつ

第五期は「ここらを使った日常臨床の面接アプローチ—オーソドックスな精神分析的アプローチと比較しながら—」と銘打ち、今日の臨床状況に見合った精神分析の活かし方を、主として「面接プロセス」に焦点を当て検討します。

まずは、基礎知識として、病態水準や心的防衛機制、パーソナリティの成熟度、無意識的空想などの基本概念を解説します。そのうえで、今日の自我脆弱群、すなわち、パーソナリティ障害、虐待、ASDなどの面接プロセスがいかに進むのか、その基本ラインと臨床の実際をお示しします。

このように、第五期は、今日の臨床状況を踏まえたうえで、オーソドックスな精神分析と比較検討しながらも、とりわけ面接プロセスに焦点を当て、皆様の日々の臨床の考える素地にさせていただきたいと思っております。

なお、講師は祖父江典人ひとりによる講義です。

セミナー 講義スケジュール 令和6年度(2024) 約2時間		
月日	テーマ	講師
2024/5/27(月)配信予定	今日の臨床の特徴——なぜオーソドックスではいけないのか	祖父江典人
2024/6/24(月)配信予定	基礎知識1:病態水準と心的防衛機制	同
2024/7/29(月)配信予定	基礎知識2:フラストレーション耐性とパーソナリティの成熟度	同
2024/8/26(月)配信予定	基礎知識3:無意識的空想と自己を知る	同
2024/9/30(月)配信予定	面接プロセスの基本1:幼児的願望の意識化から現実の直面	同
2024/10/28(月)配信予定	面接プロセスの基本2:モーニング・ワークから人間界での共有感	同
2024/11/25(月)配信予定	面接プロセスの基本3:自我強化のための内的マネジメント	同
2024/12/30(月)配信予定	自我脆弱群の面接プロセス1:パーソナリティ障害の場合	同
2025/2/28(月)配信予定	自我脆弱群の面接プロセス2:虐待の場合	同
2025/3/28(月)配信予定	自我脆弱群の面接プロセス3:ASDの場合	同

◇ミニSVコーナー／質問コーナー

- ・理論と実践を結びつけるために、ミニSVを受け付けます。
- ・臨床事例のミニSVを求められる方は、A4、1枚程度に臨床事例の要点をまとめ、検討事項をお示しください。
- ・臨床事例は構造化された面接には限りません。福祉や教育やリエゾン系の援助事例でもかまいません。
- ・まとめ方や検討事項の提示の仕方は、特に決まりはありませんのでお任せします。翌回のセミナーにて回答いたします。
- ・なお、本セミナーは守秘義務のある会員のみ視聴できますが、念のため守秘性を担保するために、事例の一部 改ざん等は、必要に応じてしてください。
- ・また、各回のセミナー講義に関する質問を受け付けます。翌回のセミナー講義の中で、ご返答いたします。講義内容自体でなくとも、そこから連想された質問でも構いません。

日常臨床のための対象関係論WEBセミナー趣旨

本セミナーは、**WEB形式(ストリーミング動画配信)**によるセミナーを実施しております。ストリーミング配信ですので、忙しい日々の合間を縫って、好きな時間に受講いただけます。さらには、「質問コーナー」と「ミニSVコーナー」を設け、参加者の方々との双方向のコミュニケーションを図っております。

まず、本セミナーの趣旨を述べたいと思います。

今日、臨床心理士・公認心理師の職域が広がりを見せつつあることを鑑み、日常臨床の現場に活かせる精神分析の応用を、本セミナーの趣旨としています。

では、精神分析の理念とは何でしょうか。それは、「自己を知る」ことによる自我(主体性)の強化です。ですが、今日増加傾向にある愛着障害(ASDや虐待後遺症)の心理療法や援助においては、従来の精神分析の枠では理解の及ばないところの世界が広がっています。愛着の基盤が脆弱だったり、人と人との関係性の実感の薄い病態が広がっているのです。

このために、技法的工夫も必要とされます。すなわち、「自己を知る」ことによる自我強化ばかりでは、自己の孤立になりかねず、人間界での共有感の醸成の視点も、等しく重要になるのです。この視点は、私たちの臨床・援助現場が、従来の医療のみならず、福祉、教育、身体医療(リエゾン)などに裾野を広げるとともに、ますます重要性を増すことでしょう。

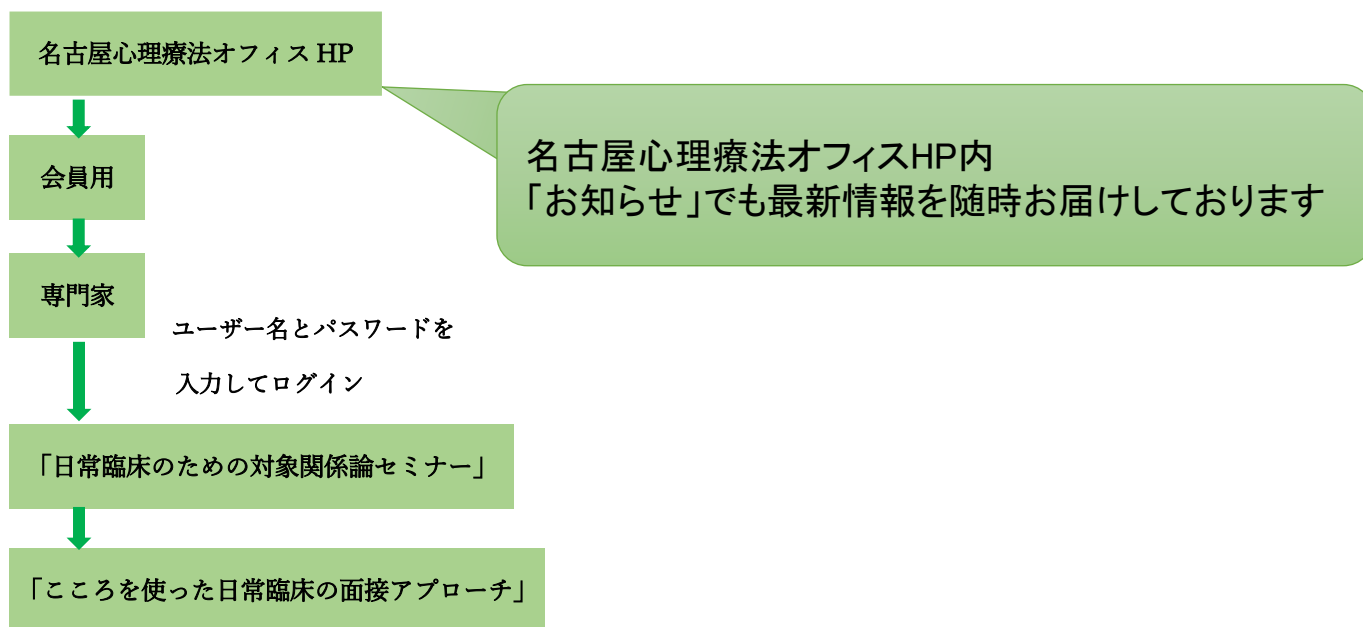
本セミナーでは、精神分析の先人たちの理論・技法を基本として学びながらも、それら**オーソドックスな分析臨床との技法的異同を明確にし、現場に即した日常臨床への活かし方を検討することを主眼**としています。

どうぞ皆様のお申し込みをお待ちしております。

令和6年1月10日

日常臨床のための対象関係論WEBセミナー代表
名古屋心理療法オフィス 祖父江典人

◇ WEBセミナーの受講方法について



・会員サイトへのログインユーザー名とパスワードの設定は、別紙「WEBセミナー第五期参加申込書」にてご案内しております。

・ストリーミング動画配信ですので、インターネット環境があれば、いつでも何回でも好きな時間に視聴可です。(※PCでもスマホでも視聴可)

・受講いただいたセミナーに関しては、視聴期限はなく、本オフィスが続く限り、視聴できます

お問い合わせ:

[メール] nagoya_psy@yahoo.co.jp (事務局: 近藤麻衣)

[ホームページ] <https://nagoya-psychotherapy.com/>